

## 2016年度活動報告書

年度	AP:スポーツ仲裁規則				DP:ドーピング紛争に関するスポーツ仲裁規則				SP:特定仲裁合意に基づくスポーツ仲裁規則				MP:特定調停合意に基づくスポーツ調停(和解あつせん)規則				他の解決手段を利用した事案	その他の相談事案	問い合わせ	取扱事案総数
	仲裁申立受理事案数		仲裁不応諾事案数		仲裁申立受理事案数				仲裁申立受理事案数		仲裁不応諾事案数	調停申立受理事案数			調停不応諾事案数					
	仲裁判断数	仲裁申立取下事案数			仲裁判断数	仲裁申立取下事案数			仲裁判断数	仲裁申立取下事案数		和解成立事案数	調停不調事案数	調停取下事案数						
2003	3	3	0	2													2	5	12	
2004	2	2	0	1				0	0	0	0						1	8	12	
2005	2	1	1	0				0	0	0	0						4	9	15	
2006	1	1	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	11	
2007	0	0	0	2				0	0	0	0	1	0	1	0	1	3	6	20	
2008	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	1	18	31	
2009	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	1	19	33	
2010	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	17	27	
2011	3	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	42	
2012	4	3	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	37	83	
2013	24	8	16	3	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	39	114	
2014	6	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	51	103	
2015	7	6	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	53	103	
2016	8	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	56	114	
合計	68	43	23	15	5	4	0	0	0	0	3	6	3	2	1	8	17	344	720	

## 1. 仲裁・調停等業務及び事前相談への対応(2017年3月末日現在)

## (1) 2016年度(2017年3月末日現在)の仲裁・調停等業務について

スポーツ仲裁申立件数: 8件(係属中2件、仲裁判断6件、取下げ0件、不応諾0件)

ドーピング紛争に関するスポーツ仲裁: 1件(係属中1件)

特定仲裁合意に基づくスポーツ仲裁申立件数: 0件

特定調停合意に基づくスポーツ調停申立件数: 1件(不応諾1件)

## (2) 手続費用支援決定について

6事案において6件の手続費用支援要請があり、そのうち5件で支援決定がなされた(残り1件については案件が係属中であるため未審査)。

## (3) 事前相談への対応について

相談数: 56件 問い合わせ数: 48件

相談対応者: 仲裁調停専門員 杉山翔一、石原遥平

仲裁調停専門委託員 前田卓朗

## 2. スポーツ仲裁自動応諾条項の採択状況

スポーツ仲裁自動応諾条項の採択状況(2017年2月28日現在)(注1)

	採択済	未採択	検討中	不明 (注4)	合計	採択率 (%)
JOC・日体協・日本障がい者スポーツ協会	3	0	0	0	3	100
JOC加盟・準加盟団体(注2)	49	5	8	0	62	79
日体協加盟・準加盟団体(注3)	7	6	4	0	17	41.2
小計	59	11	12	0	82	72
都道府県体育協会	23	8	16	0	47	48.9
日本障がい者スポーツ協会加盟・準加盟団体(注5)	14	9	40	14	77	18.2
<b>合計</b>	<b>96</b>	<b>28</b>	<b>68</b>	<b>14</b>	<b>206</b>	<b>46.6</b>

(注1) 加盟団体の数は各団体のホームページ(2016年12月31日時点)による。

(注2) 特定非営利活動法人日本スポーツ芸術協会を除く。

(注3) 重複を避けるため、JOC加盟・準加盟団体及び都道府県体協を除く。

(注4) 回答がない等の団体。不明団体には直接架電し、確認をとっている状態又は連絡待ちの状態。

(注5) 重複を避けるため、JOC加盟・準加盟団体を除く。現在調査中である(2017年2月現在)。

## 3. スポーツ仲裁シンポジウム

日時：2016年12月3日(土) 13:00～16:00 場所：SMBC ホール(大手町)

テーマ：スポーツ団体とアスリートとの協働が創り出すスポーツ環境

～2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて～

参加者数：100名程度

イントロダクション 黒岩 敏幸様 (JSAA 執行理事)

(仲裁機構の扱うトラブルの傾向)

第一部 基調講演 橋本 聖子様 (日本代表選手団団長、JOC 常務理事)

(競技団体の選手やスタッフの直面するトラブルと教育の重要性)

第二部 パネルディスカッション(順不同)

パネリスト：岩田 史昭様 (公益財団法人日本体育協会国体課課長)

大橋 卓生弁護士 (一般社団法人全日本テコンドー協会理事・コンプライアンス委員長)

池田 信太郎様 (世界バドミントン連盟 選手委員会 委員)

千賀 福太郎弁護士 (元 JSAA 理解増進事業専門員)

コーディネーター：菅原 哲朗弁護士 (公益財団法人日本スポーツ仲裁機構顧問)

## 4. 理解増進活動事業

理解増進事業専門員 2016年6月～2017年3月：小川和茂、2017年1月～：富田英司

(1) 競技者等に対する研修会

・JSAA 主催研修会【年14回程度】

(長野県体育協会、栃木県体育協会、岡崎市体育協会、関東学生ホッケー連盟、全日本空手道連盟、日本フェンシング協会(理事会)、日本フェンシング協会(競技者)、埼玉県アーチェリー協会、日本障がい者スポーツ協会、日本ソフトボール協会、大分県体育協会)

(2) 競技者等に対するアウトリーチ活動【2回】

・夏季国体(岩手県北上市)開会式(2016年10月1日)、事前打合せ(岩手県盛岡市)

・冬季国体(長野県・スケート会場)(2日間、2017年2月)

・全国障がい者スポーツ大会(岩手県北上市)開会式(2016年10月22日)において障が

い者スポーツ協会関係者と打合せ・視察

(3) 競技団体に対する説明会

・JSAA 主催説明会【1回】

日時：2016年12月3日（土） 場所：SMBC ホール（大手町）

参加者数：18名 講師：富田英司（理解増進事業専門員）

・JADA 主催説明会【2回】

日時：2017年2月3日 18:00～20:30 場所：東京都内

・他団体主催説明会【2回】

日時：2017年3月 日本障がい者スポーツ協会三協議会

日時：2017年3月 都道府県体育協会連合会

・個別の競技団体に対する説明【随時】

長崎県体育協会、山口県体育協会

(4) 仲裁人等に対する研究会

・スポーツ仲裁法研究会【3回】

第37回 2016年9月24日（土）15:15～17:30 参加者：33名

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎 121 講義室

テーマ：最新の仲裁判断について

第38回 2016年10月12日（水）18:30～20:30 参加者：30名

場所：大阪弁護士会館

テーマ：最新の仲裁判断、英国におけるスポーツ仲裁実務

第39回 2017年2月4日（土）10:30～11:45 参加者：44名

場所：金沢工業大学虎ノ門大学院 13 階 1301 教室

テーマ：最新の仲裁判断、ドーピング仲裁基礎研修、アンチ・ドーピング規則における「意図的」概念

5. 海外派遣研修事業

○ Trans Insight Corporation への派遣

派遣者：富田 英司 派遣期間：2017年1月末～2017年3月末

派遣国：米国 ニューヨーク

以上